

(第6号様式)

年 月 日

公益財団法人福島県文化振興財団理事長 様

事業完了後、証ひょう書類を添付の上、2か月以内に事業の実施結果を報告してください。
※年度末頃に事業完了の場合は、遅くても、4月10日までに提出願います。

〒 _____
所在地
名 称
代表者

㊟

助成事業実績報告書

年 月 日付 第 _____ 号で助成金交付の対象となった事業を下記のとおり完了したので要綱第12条の規定によりその実績を報告いたします。

記

1. 助成事業を開始した期日およびその完了期日

自 年 月 日 ~ 至 年 月 日

2. 事業の実施内容及び成果 (付 表 1)

3. 事業の収支決算書 (付 表 2)

4. 添 付 資 料 (別添のとおり)

(付表2)

助成事業の収支決算書

1. 収入の部

(単位：円)

項	目	予 算 額 (申請時の金額)	決 算 額	摘 要 (積 算) ※各収入の内訳を詳細に記載
自 己 資 金	<p style="color: red;">申請時の予算額に対する決算額とその内訳をそれぞれ詳しく記載してください。チケット販売収入や刊行物等の成果品の販売収入があった場合は、その内訳を詳しく記載してください。 なお、助成額は、団体等が負担する自己資金額を超えない範囲での助成となります。</p>			
	(例)			
	団員負担金 チケット売上	●●●●円 ××××円	△△△△円 □□□□円	
助 成 金		申 請 額 50,000 円	内 定 額 50,000 円	文化振興財団より
そ の 他	◇◇市補助金	○○○円	●●●円	
	協賛金	◇◇◇円	◆◆◆円	
	寄附金	×××円	☆☆☆円	
計		△△△△円	A ○○○○円	

※ 成果品等の販売収入がある場合は記入すること。

<記入上の諸注意>

2. 支出の部

項目	予算額 (申請時の金額)	決算額	摘要(積算) ※各経費の内訳を詳細に記載
<p>事業に要した経費の項目や金額とその積算内訳を記載してください。 助成対象経費が申請時より減少した場合は、助成金額が減額になる場合があります。ただし、算定の結果、申請時より対象経費が増加した場合でも、決定した内定額を上回ることはありません。</p>			
(例) 会場使用料・賃借料	〇〇〇円	●●●円	ホール使用料 △△△円(本番) ×××円(練習)
旅費	△△△円	▲▲▲円	講師旅費 ◇◇◇円 指揮者 □□□円
印刷製本費	×××円	◆◆◆円	ポスター〇〇〇円 チラシ ◇◇◇円
著作権料	□□□円	■ ■ ■ 円	
消耗品費 会議費			
計	△△△△円	B ●●●●円	

3. 剰余金(欠損金)

A - B 円

収入額(A)が決算額(B)を上回り、剰余金が発生した場合は、その分が減額対象になります。